

取材申請ガイドライン

≫ 取材にあたって

- トップリーグの試合取材は、「スポーツ報道」を目的としたものについてのみお受けしております。
(トップリーグの公式イベントもこれに準じます。)
- トップリーグの取材申請は、全ての試合について、日本ラグビーフットボール協会・広報部が一括してお受けいたします。
- 試合取材の申請は、当該試合開催日の3日前までに、所定の取材申請書に必要事項を記入の上、FAXで日本ラグビーフットボール協会・広報部までお送りいただくか、日本ラグビーフットボール協会プレスサイト(URL: <http://rugby.dweblink.jp>)にてご申請ください。それ以外の方法、それ以降の申請は一切受け付けません。プレスサイトでの申請についての詳細は、P.10をご参照ください。
- 取材者の加盟団体/カテゴリによる申請方法は下記の「取材体制区分の一覧」をご参照ください。
- アクレディテーション(以下、AD)およびフォトグラファー・TVカメラピブス(以下、ピブス)は各試合会場のメディア受付にて、取材者の身分証明書等を確認の上発行いたします。メディアの皆様は、身分証明書またはこれに準ずるもの(記者証、IDカード)を必ず携行し、ご提示いただきますようお願いいたします。
- 1会場に取材が集中することが想定される場合は、申請方法やカメラ台数の制限など、一部異なった態勢を取らせていただく場合があります。この場合は別途ご案内いたしますので、あらかじめご承知おきください。
- トップリーグ、参加チームの権益を侵したり、個人・団体を誹謗・中傷したりするなどの活動を行った場合は、その後の取材をお断りすることもあります。
- 取材内容を、申請媒体以外の個人のホームページやブログ、SNSへ掲載することはご遠慮ください。掲載が確認された場合は、その後の取材をお断りすることもあります。

≫ 取材体制区分の一覧

	加盟団体/カテゴリ	申請方法
ベン取材	運動記者クラブ	原則申請不要。1会場の取材者が1社4名を超える場合はご連絡ください。運動記者クラブの所属地域をまたいで取材を行う場合は、取材者総数の社内調整をお願いいたします。
	ラグビーマガジン	原則申請不要。1会場の取材者が4名を超える場合はご連絡ください。
	日本雑誌協会加盟社 その他のメディア	試合取材申請書に必要事項を記入の上、試合開催日の3日前までに申請。 1媒体につき2名まで。掲出媒体名、編集責任者印が必要となります。
	インターネットメディア	※インターネットメディアは原則1社1名まで。詳細はP.12をご参照ください。
	チーム チーム公式HP/ファンクラブ/後援会報誌	試合取材申請書に必要事項を記入の上、試合開催日の3日前までに申請。1チームにつき2名まで。掲出媒体名、編集責任者印が必要となります。ロッカールームでの取材不可。
スチールカメラ取材	写真記者協会	原則申請不要。1会場の取材者が1社4名を超える場合はご連絡ください。写真記者協会の所属地域をまたいで取材を行う場合は、取材者総数の社内調整をお願いいたします。
	ラグビーマガジン	原則申請不要。1会場の取材者が4名を超える場合はご連絡ください。
	日本雑誌協会加盟社 その他のメディア	試合取材申請書に必要事項を記入の上、試合開催日の3日前までに申請。 1媒体につき2名まで。掲出媒体名、編集責任者印が必要となります。
	インターネットメディア	※インターネットメディアは原則1社1名まで。詳細はP.13をご参照ください。
	チーム チーム公式HP/ファンクラブ/後援会報誌	試合取材申請書に必要事項を記入の上、試合開催日の3日前までに申請。1チームにつき2名まで。掲出媒体名、編集責任者印が必要となります。ロッカールームでの取材不可。
TVカメラ取材	スポーツニュース協会 およびニュース取材	原則申請不要。1会場に1社2クルー(1クルー:ディレクターを含む4名まで)を超える場合はご連絡ください。試合によってはネットワーク間の調整をお願いする場合があります。
	チーム応援番組	試合開催日の3日前までに、試合取材申請書に番組企画書を添えて申請。
	その他の番組取材	試合開催日の3日前までに、試合取材申請書に番組企画書を添えて申請。
	インターネットメディア	インターネット単体での映像取材・掲載は不可。
	チーム チームPRビデオ	チーム分析用ビデオ(ピッチ上)撮影者(1チームにつき2名まで)は事前に配布しているピブスを着用。チームPRビデオ撮影者は試合取材申請書に必要事項を記入の上、試合開催日の3日前までに申請。掲出媒体名、編集責任者印が必要となります。ロッカールームでの取材不可。取材者は1チームにつき4名まで。

※音声(ラジオ等)媒体の取材(中継以外)は、上記表記中のベン取材に準じます。
運動記者クラブ加盟社は、1社4名、その他のメディアは1社2名までとさせていただきます。

取材申請ガイドライン

»» ペン取材について



運動記者クラブ加盟社

- 各地運動記者クラブ加盟社を対象とし、事前申請の必要はありません。
ただし、4名を超える場合は、申請状況により調整させていただくことがありますので、取材を希望する試合の3日前までに日本ラグビーフットボール協会・広報部までご連絡ください。
- 運動記者クラブ加盟社が地域を越えて取材を希望する場合、社内、または系列社と事前に人数の調整を行ってください。
- 取材当日、メディア受付にてADの発行を行います。その際には必ず記者証をご提示ください。
- ADは確認しやすいよう着用してください。取材終了後には必ずご返却ください。
- 各スタジアムの常設設備によって、机付き記者席をご用意できない場合があります。



ラグビーマガジン

- 事前申請の必要はありません。
ただし、4名を超える場合、または社外のライターを手配される場合は申請状況により調整させていただくことがありますので、取材を希望する試合の3日前までに日本ラグビーフットボール協会・広報部までご連絡ください。
- 取材当日、メディア受付にてADの発行を行います。その際、必ず社員証(社外のライターの場合は身分証明書)をご提示ください。
- ADは確認しやすいよう着用してください。取材終了後には必ずご返却ください。



日本雑誌協会加盟社・その他のメディア

- 日本雑誌協会加盟社およびその他のメディアの記者・編集者は試合ごとに申請が必要になります。
- 取材を希望する試合の3日前までに、試合取材申請書をFAXでお送りいただくか、プレスサイトにて申請してください。それ以外の方法、それ以降の申請は一切受け付けません。なお、編集責任者印のないものは、無効とさせていただきますのでご注意ください。
プレスサイトでの申請は、媒体編集者が責任をもって申請してください。
- 定期刊行物以外の雑誌または出版等の取材に関しては、別途企画書を添付して申請してください。
- 取材内容の確認、取材者の人数調整をお願いすることがある旨、あらかじめご了承ください。
- 取材当日、メディア受付にてADの発行を行います。その際、必ず提出した取材申請書の控え(または原本)または取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。プレスサイトで申請した場合は、取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。
- ADは確認しやすいよう着用してください。試合終了後には必ずご返却ください。
- 掲載誌は必ず日本ラグビーフットボール協会・広報部宛にご送付ください。ご送付いただけない場合は、その後の取材をお断りすることもあります。



フリーランス(ライター)

- フリーランスの申請は、必ず契約するもしくは掲載する媒体が行ってください。個人からの申請はお受けできません。
- 取材当日、メディア受付にてADの発行を行います。その際、必ず提出した取材申請書の控え(または原本)または取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。プレスサイトで申請した場合は、取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。
- ADは確認しやすいよう着用してください。試合終了後には必ずご返却ください。
- 掲載媒体は必ず日本ラグビーフットボール協会・広報部宛にご送付ください。媒体と判断されない場合は、その後の取材をお断りすることもあります。



インターネットメディア

- 報道機関やスポーツニュース協会加盟社などは、新聞や定期刊行物、ニュース番組など「主たるメディア」を補完するために自社で開設したウェブサイトへの情報掲載を目的とした取材を行うことができます。
ただし、上記報道機関においては、取材申請の許可は主たる媒体に対して行うもので、インターネット単体での申請はお受けしません。
- インターネット単体のメディアについては、株式会社など法人格を持つ団体が運営し、独自のドメインを取得しているウェブサイト(ブログ、メールマガジンを除く)について取材申請をお受けします。
- インターネットメディアについても、取材を希望する試合ごとに申請が必要となります。(申請上の注意点は上記「その他のメディア」に準じます。)
- インターネット単体のメディアにおいては、試合取材を通じて取得した情報(試合後の記者会見やミックスゾーンでの取材を含む)は無料で自由に閲覧できる形で掲載することとし、有料コンテンツや会員登録が必要となるコンテンツとしての掲載はできません。情報掲載は試合終了後のみとし、速報など試合中の情報発信はお断りいたします。また、テキストおよび静止画のみ掲載が可能です。

≫ スチールカメラ取材について

写真記者協会加盟社

- 各地写真記者協会加盟社を対象とし、1社4名までは事前申請の必要はありません。
ただし、4名を超える場合は、申請状況により調整させていただくことがありますので、取材を希望する試合の3日前までに日本ラグビーフットボール協会・広報部までご連絡ください。
- 写真記者協会加盟社が地域を越えて取材を希望する場合、社内または系列社と事前に人数の調整を行ってください。
- 取材当日、メディア受付にてピブスをお渡しします。その際には、必ず記者証または身分証明書をご提示ください。
- ピブスは確認しやすいよう着用してください。取材終了後には必ずご返却ください。取材者の過失によりピブスを破損・紛失した場合は再発行できないことがありますので、あらかじめご承知おきください。

ラグビーマガジン

- 事前申請の必要はありません。
ただし、1会場の取材者が4名を超える場合、または社外フォトグラファーを手配される場合は、申請状況により調整させていただくことがありますので、取材を希望する試合の3日前までに日本ラグビーフットボール協会・広報部までご連絡ください。
- 取材当日、メディア受付にてピブスをお渡しします。その際、必ず社員証(社外フォトグラファーの場合は身分証明書)をご提示ください。
- ピブスは確認しやすいよう着用してください。取材終了後には必ずご返却ください。取材者の過失によりピブスを破損・紛失した場合は再発行できないことがありますので、あらかじめご承知おきください。

日本雑誌協会加盟社・その他のメディア

- 日本雑誌協会加盟社およびその他のメディアのフォトグラファーは試合ごとに申請が必要になります。
- 取材を希望する試合の3日前までに、試合取材申請書をFAXでお送りいただくか、プレスサイトにて申請してください。
それ以外の方法、それ以降の申請は一切受け付けません。
なお、編集責任者印のないものは無効とさせていただきますので、ご注意ください。プレスサイトでの申請は媒体編集責任者が責任をもって申請してください。
- 定期刊行物以外の出版物等の取材に関しては、別途企画書を添付して申請してください。
- 取材当日、メディア受付にてピブスをお渡しします。その際、提出した取材申請書の控え(または原本)または取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。プレスサイトで申請した場合は取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。
- ピブスは確認しやすいよう着用してください。取材終了後には必ずご返却ください。取材者の過失によりピブスを破損・紛失した場合は再発行できないことがありますので、あらかじめご承知おきください。
- 掲載誌は必ず日本ラグビーフットボール協会・広報部にご送付ください。ご送付いただけない場合は、その後の取材をお断りすることもあります。

フリーランス(フォトグラファー)

- フリーランスの申請は必ず契約するもしくは掲載する媒体が行ってください。個人からの申請はお受けできません。
- 取材当日、メディア受付にてピブスをお渡しします。その際、提出した取材申請書の控え(または原本)または取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。プレスサイトから申請した場合は取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。
- ピブスは確認しやすいよう着用してください。取材終了後には必ずご返却ください。取材者の過失によりピブスを破損・紛失した場合は再発行できないことがありますので、あらかじめご承知おきください。

インターネットメディア

- 報道機関やスポーツニュース協会加盟社などは、新聞や定期刊行物、ニュース番組など「主たるメディア」を補完するために自社で開設したウェブサイトへの情報掲載を目的とした取材を行うことができます。
ただし、上記報道機関においては、取材申請の許可は主たる媒体に対して行うもので、インターネット単体での申請はお受けしません。
- インターネット単体のメディアについては、株式会社など法人格を持つ団体が運営し、独自のドメインを取得しているウェブサイト(ブログ、メールマガジンを除く)について取材申請をお受けします。
- インターネットメディアについても、取材を希望する試合ごとに申請が必要となります。(申請上の注意点は上記「その他のメディア」に準じます。)
- インターネット単体のメディアにおいては、試合取材を通じて取得した情報(試合後の記者会見やミックスゾーンでの取材を含む)は無料で自由に閲覧できる形で掲載することとし、有料コンテンツや会員登録が必要となるコンテンツとしての掲載はできません。
情報掲載は試合終了後のみとし、速報など試合中の情報発信はお断りいたします。また、テキストおよび静止画のみ掲載が可能です。

取材申請ガイドライン

» TVカメラ取材について



スポーツニュース協会加盟社およびニュース取材

- スポーツニュース協会加盟社およびニュース取材のTVカメラ取材者は事前申請の必要はありません。ただし、1会場につき1社2クルー（1クルー：ディレクターを含む4名）を超える場合は、申請状況により調整させていただくことがありますので、取材を希望する試合の3日前までに日本ラグビーフットボール協会・広報部までご連絡ください。
- フィールドおよびスタンド所定のTV取材エリアでの取材はピブスの着用が義務づけられています。
- フィールドでの取材が必要ないディレクター等にはADを発行いたします。
- メディア受付にてピブス、ADを受け取る際は、必ず記者証または身分証明書をご提示ください。
- ピブス、ADは、確認しやすいよう着用してください。また、取材終了時には必ずご返却ください。
- 取材者の過失によりピブス、ADを破損・紛失した場合は再発行できないことがありますのであらかじめご承知おきください。



チーム応援番組

- 試合の3日前までに、番組企画書を添えて、試合取材申請書をFAXでお送りいただくか、プレスサイトにて申請してください。プレスサイトから申請の場合も、企画書は日本ラグビーフットボール協会・広報部までFAX、またはメールにてご提出ください。
- 取材者は、1番組1クルー（1クルー：ディレクターを含む4名）とします。ただし、取材内容の確認、取材者の人数調整を行う場合がある旨、あらかじめご了承ください。
- メディア受付にてピブスを受け取る際は、必ず記者証または身分証明書を提示ください。
- ピッチ上およびスタンド所定のTV取材エリアでの取材はピブスの着用が義務づけられています。
- ピッチ上での取材が必要ないディレクター等にはADを発行いたします。



その他のメディア番組取材

- 試合の3日前までに、番組企画書を添えて試合取材申請書をFAXでお送りいただくか、プレスサイトにて申請してください。プレスサイトから申請の場合も、企画書は日本ラグビーフットボール協会・広報部までFAXまたはメールにてご提出ください。
- 取材者は、1番組1クルー（1クルー：ディレクターを含む4名）とします。ただし、取材内容の確認、取材者の人数調整を行う場合がある旨、あらかじめご了承ください。
- 放送した番組映像は、日本ラグビーフットボール協会・広報部にご提出ください。ご提出いただけない場合は、その後の取材をお断りすることもあります。
- メディア受付にてピブスを受け取る際は、必ず記者証または身分証明書を提示ください。
- ピブス、ADは、確認しやすいよう着用してください。また、取材終了時には必ずご返却ください。
- 取材者の過失によりピブスを破損・紛失した場合は、再発行できないことがありますので、あらかじめご承知おきください。



インターネットメディア

- インターネットメディアによる映像（動画）取材の申請は一切受け付けておりません。また、インターネットで映像（動画）を配信することもお断りしております。配信が確認された場合は、その後の取材をお断りすることもあります。

» チーム取材体制区分

カテゴリ	ベン取材		スチールカメラ取材		TVカメラ取材	
内容	公式HP、ファンクラブ、会報誌		公式HP、ファンクラブ、会報誌		分析PRビデオ	
申請締切	3日前					
申請可能人数	2名		2名		6名	
(内訳人数) 着用物	(1名) ADカード	(1名) ADカード	(1名) 緑ピブス	(1名) 紺ピブス	(分析2名) 緑ピブス	(分析以外) 黄ピブス
取材/撮影可能エリア	メディアエリア	メディアエリア	VIPエリア以外	ピッチ撮影エリア	VIPエリア以外	ピッチ撮影エリア
ロッカーでの取材	×	×	○	×	○	×

※緑ピブスはあらかじめチームに3枚配布しています。

※スチールカメラ取材において、緑ピブスが着用できるカメラマンは1チームに1名のみです。

※TVカメラ取材において、分析スタッフの緑ピブスが余った場合、それを分析以外の撮影スタッフに着用させることも可能です。

※取材を希望する試合の3日前までに、所定のフォーマットにて取材申請をお願いいたします。

≫ ジャパンラグビー トップリーグ所属チームによる取材について

ペン取材

- 取材を希望する試合ごとに申請が必要になります。
- チーム責任者または担当者より申請してください。
- 取材を希望する試合の3日前までに、試合取材申請書をFAXでお送りいただくか、プレスサイトにて申請してください。それ以外の方法、それ以降の申請は一切受け付けません。その際は、掲載する媒体名を明記してください。また、試合取材申請書に編集責任者印の無いものは無効となりますのでご注意ください。プレスサイトでの申請では責任者の名前を必ず入力してください。確認させていただく場合があります。取材者は、1チーム2名までとさせていただきます。
- 取材当日、メディア受付にてADの発行を行います。その際、必ず提出した取材申請書の控え(または原本)または取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。プレスサイトで申請した場合は取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。
- ADは確認しやすいよう着用してください。試合終了後には必ずご返却ください。
- ロッカールーム内での取材は原則不可となります。

スチールカメラ取材

- 原則として、申請時の目的以外での使用は不可となります。
- 取材を希望する試合の3日前までに、試合取材申請書をFAXでお送りいただくか、プレスサイトにて申請してください。それ以外の方法、それ以降の申請は一切受け付けません。その際は、掲載する媒体名を明記してください。また、試合取材申請書に編集責任者印の無いものは無効となりますのでご注意ください。プレスサイトでの申請は責任者の名前を必ず入力してください。確認させていただく場合があります。取材者は、1チーム2名までとさせていただきます。
- 取材当日、メディア受付にてピブスをお渡しします。その際、提出した取材申請書の控え(または原本)または取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。プレスサイトで申請した場合は取材者ご本人であることが確認できるものをご提示ください。
- ピブスは確認しやすいよう着用してください。取材終了後には必ずご返却ください。取材者の過失によりピブスを破損・紛失した場合は再発行できないことがありますので、あらかじめご承知おきください。
- ロッカールーム内での取材は原則不可となります。

TVカメラ取材

- 原則として、申請時の目的以外での使用は不可となります。
- 試合の3日前までに、番組企画書を添えて試合取材申請書をFAXでお送りいただくか、プレスサイトにて申請してください。それ以外の方法、それ以降の申請は一切受け付けません。プレスサイトから申請の場合も、企画書は日本ラグビーフットボール協会・広報部までFAX、またはメールでご提出ください。
- 取材者は、4名までとします。ただし、取材内容の確認、取材者の人数調整を行う場合がある旨、あらかじめご了承ください。
- メディア受付にてピブスを受け取る際は、必ず記者証または身分証明書を提示ください。
- ピッチ上およびスタンド所定のTV取材エリアでの取材はピブスの着用が義務づけられております。
- ピッチ上での取材が必要ないスタッフにはADを発行いたします。
- ロッカールーム内での取材は原則不可となります。

インターネットメディア取材

- インターネットへの記事掲載(テキストおよび静止画像)は、自チーム以外の情報については取材対象試合の試合終了以降から可能とさせていただきます。試合途中の情報を速報としてインターネットへ掲載することは固くお断りいたします。
- インターネット上での動画配信(試合映像 他)は原則禁止しております。
- インターネットに掲載した情報は無償で閲覧できることを前提としており、有償閲覧とする掲載はお断りしています。

≫ その他取材上の留意点について

<円滑な取材活動をおこなうために>

- ・AD、ピブスは確認しやすいよう着用してください。取材終了後には必ずご返却ください。
- ・スタジアムごとにルールがありますので、取材当日、各会場のメディア受付にてご確認のうえ、ご取材をお願いします。
- ・取材エリアを遵守し、係員の指示に従ってください。観客席(スタンド)での取材・撮影およびペン記者席でのカメラ撮影は原則として禁止しております。
- ・所定の喫煙場所以外は禁煙となります。また、ゴミは必ず所定のゴミ箱に捨てるか、お持ち帰りください。
- ・取材者の過失によりピブス、ADを破損・紛失した場合は再発行できないことがありますのであらかじめご承知おきください。

<資料・会見>

最終のメンバー表は、プレマッチミーティング終了後、公式記録は試合終了後に記者室等に配布します。

記者会見は、試合終了後、原則として両チームの監督(ヘッドコーチ)・主将が所定の会見場にて行います。